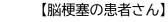
9月の学校風景~2年生の実習~

2年生の成人看護学実習Ⅱの実習風景です。残念ながら、コロナ感染症の影響で学内実習となりましたが、患者さん(教員がなりきっています)に対して、疾患や入院前の生活などを踏まえて患者さんのアセスメントを行い、必要であると考えてきた看護を実践しています。



【糖尿病の指導入院の患者さん】 患者役:真剣に話してくれているけど、 分かったような、分からないような…



学生:患者さんに説明していること、 ちゃんと伝わっているかなぁ…



【肝硬変の患者さん】

学生:患者さんの想いを聞き出すって、 どうすれば良いのかなぁ…



【慢性心不全の患者さん】

学生:心不全の患者さんって、テーブルに 身体をあずけると呼吸が楽になるんだ!!





【人工肛門を造設した患者さん】 学生:人工肛門の扱いって、患者さんも 不安だろうけど、私も不安だなぁ…

【透析導入期の患者さん】 学生:自分たちの知識が無いと、患者さん に正しく伝えられないんだ!!



※写真が準備できませんでしたが、上記の他に、乳がんの患者さんと肺がんの患者さんにも 看護を実践しました。



グループで振り返ることで、自分では気付かない点を教えてもらい、 様々な視点での意見交換をすること で、学びが深まります。

